



特集

1. 第12回通常総会
2. 小麦の状況
3. 大豆の収穫
4. 集落営農法人リーダー先進地研修会
5. 今後の予定

ひとり

紅葉真っ盛りの10月下旬、新潟県の妙高山麓の赤倉温泉に一時泊。学生時代から50年ぶりの来訪で、登山やスキーがブームであった頃、若者の多くが夜行バスや列車でこの地に降り立ったもの。有名な温泉地も、近年はずいぶん寂れてしまっていた。若者たちで溢れていたメイン道路沿いの飲食店・旅館・土産物店は多くが閉店しており、閉鎖されている保養所も目に付いた。ホテルの方に伺った話では、外国人で特に中国資本に多くが買収されているとのこと。標高2,454mの火山である妙高山麓には多くの温泉が湧出しており、私達も登山帰りには100円程で入湯できる共同公営浴場があり、汗を洗い流したものだ。金に余裕がなかった学生にとっては、温泉旅館やホテルなどは高嶺の花で、ずいぶん重宝した。越後湯沢や志賀高原なども同様で、温泉リゾートの変貌ぶりには、今昔の感あり。



* 第12回通常総会を開催 *

令和5年2月20日を表決基準日として、書面による議決で令和4年度第12回通常総会を開催しました。組合員44名のうち43名の議決権の行使をもって、総会は成立しました。

第1号議案	令和4年度事業報告	可決・承認
第2号議案	令和4年度決算報告・ 剰余金処分案	可決・承認
第3号議案	令和5年度事業計画案	可決・承認
第4号議案	令和5年度収支計画案	可決・承認
第5号議案	組合員資格の喪失及び 持ち分の譲渡について	可決・承認

以上全5議案は、全て可決承認されたことを報告します。

小麦の状況

昨年の11月に播種した小麦も順調に生育しており、2月の下旬からの穂肥施用も予定通りにできそうである。4年産の小麦は冬季の積雪と低温の影響で、生育遅れが目立ち減収になったが、5年産は実績の回復を願っている。

(参考：5年間の管内栽培法人55件中 2位)

大豆の収穫結果

4年産大豆の検査集計が2月17日に報告があり、下記の通りの結果になりました。下記の数量を基に「畑作物の直接支払交付金(数量払)」の交付申請を同日に行いました。尚、5年度産の大豆については、「タマホマレ」の単価下落や需要先の減少により、「ことゆたかA1号」に品種が変更となります。

* 作付面積 95.27a 総収量 18,703 kg 反収 196.3kg/10a *

(※当地域の基準単収 148kg/10a)

集落営農法人リーダー先進地研修会

先の総会資料の事業報告にも掲載しておりました先進地研修会ですが、令和4年10月24、25の両日、新潟県上越市・糸魚川市で開催されました。コロナ禍の影響で2年ぶりに、国立研究開発法人「農研機構・北陸研究拠点」においては、農作物の品種改良・新品種の開発、農業機械の技術研究開発等について。また糸魚川市ではファーム肥田と同規模の法人視察です。特に米粉用米「亜細亜のかおり」については、今後の栽培計画をJA東びわこ管内で検討しているため、皆さんも熱心に研修を受講しました。

※ 今後の予定

* 2月下旬～麦穂肥 * 3月11日育苗ハウス整備

* 3月下旬～畦畔農道除草・飯米申込み